

2023年度

京都景観 エリアマネジメント講座

Scenery management course in Kyoto

「景観」って
なんだろう？

2023年
7月開講

「景観」を体系的に理解する
全8回のカリキュラム

景観とは何か？

景観のマネジメント

景観と都市形成

まちとまちなみ

公共空間のデザイン

京の生活文化

自然資源と観光資源の活用

景観まちづくり

2023年度 基礎講座カリキュラム

講義科目

実習科目

※実習科目は通年受講者のみ対象

第1回

基礎理論1 景観とは何か？

7月8日(土) 10:00～16:30

堀 繁氏 / 10:00～16:30 (昼休憩あり)

東京大学 名誉教授・一般社団法人まちの魅力づくり研究室 理事

「景観」を学ぶ

～景観のよし悪しは人しだいだろうか？～

景観とは何か？人は何を見ているのか？良い景観とはどういうことか？景観についてわかりやすく解説します。

第2回

基礎理論2 景観のマネジメント

8月19日(土) 10:00～16:30

Workshop1

10:00～14:30
(昼休憩あり)

まちのことを調べてみよう

地域コミュニティ、歴史、文化、景観資源、規制など景観に関わる地域情報を、文献や統計資料等から調べる方法を知ります。

宗田 好史氏 / 14:30～16:30

関西国際大学 教授

景観を規制する仕組み、誘導する方策

景観法の「景観計画」で景観をコントロール(規制)し、誘導するマネジメント方策を考えます。

第3回

景観と都市形成

9月30日(土) 10:00～16:30

中嶋 節子氏 / 10:00～12:00

京都大学大学院 教授

京都らしい景観とは何か -歴史から考える

京都のアイデンティティとして発見された景観とは。その歴史と都市の関係から辿ります。

Field work

13:00～16:30

景観視点でまちを見てみよう

グループで現地フィールドワークを行います。まちを歩いてみて気づいたこと、気になったことなどを挙げてみましょう。

第4回

まちとまちなみ

10月21日(土) 10:00～17:30

Workshop2

10:00～14:00
(昼休憩あり)

まちの景観特性を考えよう

フィールドワークで気づいたことをグループで話し合い、まちの景観特性を整理、その「まち」らしさがどこにあるのかを考え、発表します。

森重 幸子氏 / 14:15～15:45

京都美術工芸大学 教授

社会の動きや制度と京都のまち・すまい

社会の動きや制度の中での現代の住まいとしての町家や路地について、実例を交えて解説します。

魚谷 繁礼氏 / 16:00～17:30

魚谷繁礼建築研究所 代表・京都工芸繊維大学 特任教授

歴史都市における地域計画と建築計画

京都の都市構造の変容を一瞥し、実例を通してながら歴史都市で何をいかに継承するかを考えます。

第5回

公共空間のデザイン

11月18日(土) 10:00～16:30

Workshop3

10:00～14:30
(昼休憩あり)

私が京都景観エリアマネージャーになったら…

景観まちづくり活動に関わっている先輩京都景観エリアマネージャーの実例を聞き、私ならどんなことができるかを考えます。

山口 敬太氏 / 14:30～16:30

京都大学大学院 准教授

公共空間のデザインと多主体協働のまちづくり

景観を手がかりとした公共空間のデザインや多主体協働の具体的な方法を、事例をもとに解説します。

第6回

京の生活文化

12月16日(土) 13:00～18:30

※開始時刻が他の回と異なります

町田 香氏 / 13:00～15:00

京都芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター 客員研究員

生活文化と日本庭園

人々の生活と庭園との関わりや、庭園と景観との関わりなどを、歴史的な庭園を例に紹介します。

谷 晃氏 / 15:00～17:00

野村美術館 館長

茶の湯のチカラ

茶の湯を長らく続けてきた人からは「お茶がなければ今の私はなかった」と聞くことがあります。「茶の湯のチカラ」の源を探ります。

笹岡 隆甫氏 / 17:00～18:30

華道「末生流笹岡」家元

伝統文化から受け継ぐ美意識

建築や庭園との共通点を挙げながら、いけばなのデザイン論及びその背景にある哲学を解説します。

第7回

自然資源と観光資源の活用

2024年1月20日(土) 10:00～17:00

深町 加津枝氏 / 10:00～12:00

京都大学大学院 准教授

京都の自然を活かした景観マネジメント

森や水辺などの自然は、京都の景観の重要な構成要素となっています。その特徴や近年の課題、景観マネジメントにつながるためのポイントを学びます。

村上 佳代氏 / 13:00～15:00

文化庁 文化財調査官

文化財を活かした観光まちづくり

これからの文化財を活かした観光まちづくりについて、全国の事例を用いて考えていきます。

阿部 大輔氏 / 15:00～17:00

龍谷大学 教授

観光再生における景観マネジメント

オーバーツーリズムの教訓を踏まえつつ、「暮らし」を保全・更新する景観マネジメントを考えます。

第8回

景観まちづくり

2024年2月17日(土) 14:00～17:00

※開始時刻が他の回と異なります

高田 光雄氏 / 14:00～16:00

京都美術工芸大学 教授・京都大学 名誉教授

景観政策における「まちづくりアプローチ」

新景観政策以前から展開していた景観政策「まちづくりアプローチ」の現代的意義を再確認します。

修了式

3



つの柱で

景観とまちづくりの基本を学びます

「景観」という概念を理解するためには、その地域の歴史や文化、経済、人々の暮らし方などさまざまな情報を読み取り、考えることが必要です。

本講座では、景観を構成する要素を多様な観点から学び、実習を通して考えることで、景観とまちづくりへの関わり方を身につけます。

POINT
01

景観を守り続けるまち、京都で 景観と人、文化のつながりを学ぶ

京都景観エリアマネジメント講座の基礎講座では、「景観とは何か」という基礎理論を学びます。本講座の最大の特徴は、学びのバラエティの豊かさ。京都のまちの特性、歴史、建築・土木、ランドスケープ、ビジネス、法律、政策など、さまざまな観点から景観を読み解くスキルを身につけられます。普段は簡単には受けられない各分野のプロフェッショナルの講義が一度に受けられるのは、全国でも本講座だけ。全13回の講義をとおして、奥行きのある知識を身につけましょう。



座学に加えて、「ワークショップ」「フィールドワーク」等の実習科目で知識の定着をはかります。歴史的建造物と人々の生活空間が共存する京都は、フィールドワークにも最適なまち。地図を片手に歩きながら、学んだことを自身の目で確かめてみましょう。他の受講生とも意見交換しながら進めるので、座学だけでは得られなかった気づきも生まれます。

受講実績 (2023年3月現在)

基礎講座受講者数：**303**名(通年受講のみ、単回受講者を除く)

実践講座受講者数：**125**名

京都景観エリアマネージャー登録者数：**84**名

建築士会CPDプログラムに認定

本講座の講義科目は建築士会のCPDプログラムに認定されています。各講義の所要時間により単位数(1~4単位)が設定されており、全講義科目の受講で計26単位が取得できます。

POINT
02

さまざまな専門分野をもった 仲間たちとの交流

実習科目では数人のチームにわかれ、景観の専門家のサポートを受けながら課題に取り組みます。講座に集まる受講生は、建築、不動産、行政関係、法律、商業など、分野もさまざま。講座の受講をきっかけに受講生同士の交流を深めることができるのも本講座の大きな魅力です。学生さんや、京都の景観が好きな方、文化や歴史に興味がある方も多く受講されています。前知識はまったく必要ありません。みなさんでいっしょに、ゼロからスタートを切りましょう。



「グラフィック・ファシリテーション」のスキルを学ぶ研修会



美山への研修旅行

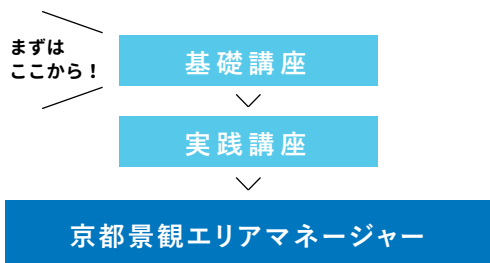
また、講座が修了したあとの交流の機会を持つ場として、「エリマネット」という活動のネットワークを設けています。エリマネットでは、まち歩きやフィールドワーク、研修会などのイベントでスキルアップをはかるとともに、それぞれの分野で活躍する修了生同士の交流を深めます。

POINT
03

実践講座に進んで 京都景観エリアマネージャーを目指す

基礎講座を受講された方は、身につけた力をいかしていくための手法を学ぶ「実践講座」の受講が可能となります※1。基礎講座・実践講座の両講座を修了すると「京都景観エリアマネージャー」としての認定を受けられ、地域の景観まちづくり活動や京都景観フォーラムのプロジェクトに参加できます。ご自身の専門分野をいかし、京都景観エリアマネージャーとしての活躍を目指してみませんか？

※1 実践講座の受講には、規定回数以上の基礎講座の受講が必要となります。



地域主体の景観まちづくり活動への参加

- ・景観まちづくりのコーディネーター
- ・地域の景観についてアドバイス
- ・プロジェクトチームを組んで景観まちづくりをサポート

こんな方々が受講しています

- ・景観やまちづくりについての基礎を学び、仕事にいかしたい行政関係者・建築業・不動産業などの方
(本講座は建築士会のCPDプログラムとして認定されています)
- ・建築や都市計画、社会学などを学ぶ学生の方
- ・自身の経験や知識を活かして景観まちづくり活動に取り組んでみたい方
- ・京都のまちが好きな方、京都の歴史や文化に興味がある方

「景観」を知れば、 目線が変わる。

京都景観エリアマネージャー

インタビュー MOVIE



「講座を受けて役立つことは?」「自分の仕事にどう活かせた?」「どんな人が受講しているの?」
そんな疑問にお答えするため、現役の京都景観エリアマネージャーのメンバーにインタビューを実施!
仕事に役立つことや受講のきっかけを、3分の動画でわかりやすくまとめました。

大好きな京都で、大好きな「町家」が、仕事になった。

第7期 京都景観エリアマネージャー
前田 弘二さん (株式会社立志社 代表)
Maeda Koji

京都市内で複数の「町家ゲストハウス」を経営する前田さん。使われていなかった古い町家をスタイリッシュに改装し、人気の宿泊施設に生まれ変わらせました。
10代のころから、とにかく町家が大好き! 東京でしていた仕事を辞め、京都で町家に関わる仕事をしている今が、とても幸せだと語ります。
前田さんが町家を仕事にするまでのエピソードと、講座を受講したきっかけ、受講して役立つことなどを聞きました。

続きは **3分動画** で!



景観をデザインすることは、未来を創ること。

第6期 京都景観エリアマネージャー
梅野 星歩さん (庭師)
Umeno Seiho

造園業「梅鉢園」代表の梅野さんは、個人のお庭のほか、長岡天満宮などの社寺の植木の手入れも手がけています。
千年以上もの間、先人たちが守り続けてきた景色を次世代へとつなぐために、どんなことを考え向き合っているのか、これからも守り伝えていくために必要なことは何なのか、お話してもらいました。
長岡天満宮の美しい紅葉の風景とともに、動画をお楽しみください。

続きは **3分動画** で!



知識があれば、景観の素晴らしさを知ることができる。

第6期 京都景観エリアマネージャー
青山 優子さん
Aoyama Yuko

もともとは文化財などの建造物に興味があり、そこから「まちなみ」のことをもっと知りたい、と受講された青山さん。講座を受けるうちに、ご自身が住む美山地域の景観の美しさ、豊かさを再認識し、その魅力を守っていきたいと考えるようになりました。
青山さんは講座で学んだことを、地域での勉強会やガイドに応用し、地域の人、美山を訪れる人とのつながりに活かしています。
教わる側から、伝える側へ。学んだことを糧にして活躍する姿をお伝えします。

続きは **3分動画** で!





大学から飛び出して
学びの場をもつ

実践講座 第12期修了生
大学生・京都景観エリアマネージャー
丸 さん

申込時は大学2年の前期でした。まだ興味ある分野の授業がなく、コロナ禍で学生生活への漠然とした焦りや不安もあり、自身に「これを学んだ」というものがほしい時期でした。この講座は**1回で終わりではなく、連続して景観を体系的に学べる**点に惹かれました。講義の内容はリーフレットで知っていたつもりでしたが、受講してみると予想とは違っていました！ただ景観規制の手法を学ぶのではなく、「景観」とはそもそもどういうものなのか、そのためにどのようなまちづくりがされてきたのか、より深いところから学べました。ワークショップでは4、5人のチームに分かれて、自分が担当する地域の良い点や課題点を話し合いました。大学は同世代ばかりですが、ここでは年代や専門性がみんな違うので、新しい着眼点がたくさん見つかりました。学生という知識が凝り固まっていないときに受講できたのも、良かったと思っています。自分の選択肢を広げてくれる興味や発見に出会い、将来の指針になりました。



同じ関心を持つ
仲間たちと出会えました

実践講座 第10期修了生
京都景観エリアマネージャー
W さん

私は学生時代を京都で過ごした経験から、京都の景観に関心を持ちました。社会人になってからも関心は続き、機会があればまた学びたいと思っていたので、この講座はぴったりでした。「良い景観、美しい景観とは何だろう」という疑問を長らく持ち続けていましたが、第1回の講義で、**ずっともやもやしていた「そもそも『景観』とは何か？」ということを明確に教えていただき、気持ちがスッキリしました。**バラエティ豊かな講座を受講し、それまでは気付かなかった幅広い視点から物事を考えられました。受講するまでは景観についてひとりで考えていましたが、講座に行くことによって、**他の受講生とのコミュニケーションを通してさまざまな考え方を知り、自分なりの視点がさらにブラッシュアップされました。**京都のまちや景観、まちづくりについて少しでも興味をお持ちの方は、ぜひ受講をおすすめします。講座やワークショップで知識・経験を得るだけでなく、**同じ関心を持つ仲間との出会いがあります。**この講座を通して、充実した学びの時間を持つことができると思います。

会場

京都市景観・まちづくりセンター

ひとまち交流館 B1 階ワークショップルーム
京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1

【バス】市バス4、17、205号系統「河原町正面」下車すぐ
【電車】地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分 / 京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分

定員

40名 (定員に達し次第締め切り)

※新型コロナウイルス感染拡大防止への対策を講じたうえで実施いたします。
※各回の講座のテーマや内容は変更されることがあります。

受講料

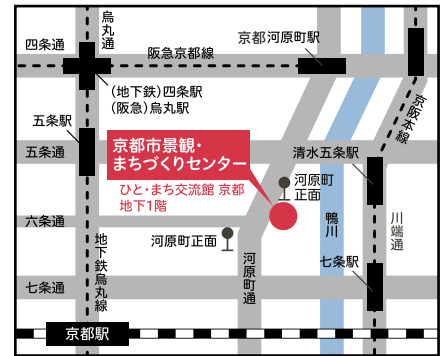
通年受講：全13講義・ワークショップ4回

※出席できなかった回は次年度、無料で受講できます。

一般 48,000円 / NPO会員 43,000円 (年会費3,000円で新規会員登録可)

単講義受講：講義科目に限りお好きな講義を選んで受講できます。(実習科目への参加はできません)

1講義あたり 4,000円 (第1回の講義のみ6,000円)



学割

学生(大学院、大学、専門学校など)は通年受講・単講義受講ともに**半額**で受講できます!



お申込はこちらから!

◀お申込専用フォーム

左のQRコードからお申込いただくか、
下記の申込書(メール or FAX)を
お送りください。



NPO法人
京都景観フォーラム

<http://kyotokeikan.org>

京都景観フォーラム 検索

京都景観フォーラムは、さまざまな専門分野の人材を景観まちづくりに携わる専門家として育てそのネットワークで、地域が主体となった景観まちづくりをサポートしています。

主催：景観整備機構 NPO法人 京都景観フォーラム(TEL: 075-354-5224)

(公財)京都市景観・まちづくりセンター

後援：京都府/京都市



2023年度 京都景観エリアマネジメント基礎講座 受講申込書

以下の項目をメールか
FAXでお送りください。

MAIL kkf@kyotokeikan.org

FAX 075-491-9663

フリガナ 氏名	住所 〒
連絡先 TEL ()	E mail
所属 (勤務先、学校名など)	<input type="checkbox"/> 学生の方はチェックを 入れてください 受講料： 通年の方は7月1日までに、指定の口座に振り込んで下さい。 (口座は申し込み後にお知らせいたします) 氏) 単講義受講の方は講座受講の際にお持ち下さい。
いずれかにチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 通年受講 <input type="checkbox"/> 単講義受講(講師名：)	
いずれかにチェックしてください。 <input type="checkbox"/> NPO会員(新規) <input type="checkbox"/> NPO会員(継続) <input type="checkbox"/> 非会員	※NPO会員は年会費3,000円が必要です。